



令和5年度 第12号

中学部：「進路を考える集い」を行いました。

7月4日（火）に中学部全員が参加し、「進路を考える集い」を行いました。

当日は、政府関係者、駐在している企業の方、ベルギーで起業された方をお招きし、進路選択するまでの経緯や、仕事をする上での苦労ややりがいなどの話を聞く機会となりました。自分の将来の事を考えて真剣に話を聞き、新たな発見をすると共に、自分の進路選択についてじっくり考える機会となりました。



《今回講師を務めていただいた方々》

◇在ベルギー日本国大使館兼北大西洋条約機構日本政府代表部

矢田重信 参事官兼領事

◇Pâtisserie-Chocolaterie 佐々木靖さん

◇トヨタモーターヨーロッパ 丹羽春香さん、西村彩里さん、平山美紀さん

矢田参事官兼領事からは「外交という仕事は、お金を儲けることではなく、世の人のために役に立ちたい、困って入る人を助けたいというものであり、外交官になってから語学を覚えた」と話されました。生徒から「外交官で一番大切なことは何ですか？」の質問があり「コミュニケーション力と交渉力」と話されました。また「日本は北大西洋条約機構に加盟している国でないのになぜその仕事をしているのか？」と社会科の学習と絡めた質問も出ました。

パティスリーショコラティエ佐々木さんからは、「パティスリーに向いていたと思うことは、人付き合いが好き、物作りが好きということ」と話されました。また、「失敗を失敗と考えない、毎日修正し続ける、修正しないと人間はうまくいかない」、「その日その日を120%で生きる」、「若い間にやってみて学ぶことが大切」と伝えていただきました。トヨタヨーロッパの3人の方からは、トヨタに就職するまでの人生について自己紹介があった後、「自分のやったことがかたちになること、みんなで働くことの素晴らしさ、働く中で苦労はあるが楽しさもあること」等を伝えていただきました。また「トヨタがいいことをしたら拡散

できる」と話し、充実した仕事を続けられていると自負されていました。生徒の感想で「中学校では土台を作っている。選択肢を広げ挑戦していくために学習しているのだと知った」「コミュニケーション力はどの仕事でも大切だと分かった」「迷うなら試してみて自分の道を見つける」など、今できることを考え、行動していきたいという思いが多くみられました。



小学部1～3年：グリーンスクールに行ってきました。

7月6日(木)、ウイジンゲン公園にグリーンスクール(遠足)に行きました。なかよし班で活動する中で、3年生がリーダーとなり、1・2年生が楽しく過ごせるように活動を進めていました。グリーンスクールに行く前から、なかよし班で活動内容を考えたり、交流を深めるためにお弁当を一緒に食べたり、遊んだりしました。3年生は、昨年度までと違い、リーダーとしての自覚を持って、班をまとめていました。1年生は、初めての遠足で大喜びでした。2年生は、3年生と一緒に1年生のお世話をしたり、3年生がしていることをじっくり見たりしながら、来年度自分たちが3年生と同じようにやりたいという気持ちを持って行動していました。天気も良く、たくさん遊んで、たくさんの思い出をつくることができた一日になりました。



(文責) 校長 佐野仁美